



10/21 ふるさとのにぎわいを堪能 (川上マンガ絵ふた公園一帯)

「川上ふるさと物産まつり」(同実行委員会主催)が開催され、多くの買い物客でにぎわいました。

町内の各コミュニティや団体が出店し、地域の手作り特産品や新鮮な野菜を販売。川上町のマスコットキャラクターきじ丸くんのふわふわバルーンは子どもたちに大人気で、列を作って順番を待っていました。

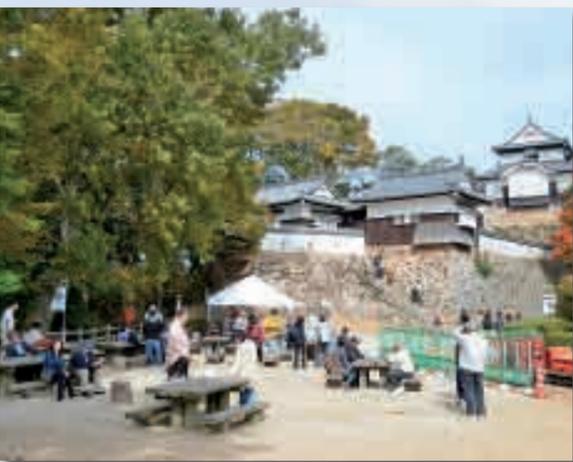
伝統芸能の渡り拍子や備中神楽、タレントによるそっくりものまねショーがあり、会場は大いに盛り上がりしました。

11/1 ゴールを目指してごみ拾い (クリーンセンターほか)

環境について関心と理解を深め、積極的に活動する意欲をさらに高めるため「ECOウォーク2012」(市主催)が行われました。

参加した51人の市民は、落合町阿部のリサイクルプラザでリサイクルについて、学習した後、3つのコースに分かれて、それぞれ約4.5kmのごみ拾いを行いました。

この日のごみ収集量は300kgで、参加者は環境美化について改めて考えていました。



11/4 お城のまち高梁をアピール (備中松山城ほか)

10月6日から開催されていたたかはしお城まつり「備中松山城 秋の陣」(高梁市観光協会主催)が、11月4日に最終日を迎えました。

10月28日(日)には、お城と城下町を舞台に宝探しが行われ、謎を解きながら町並み散策を楽しむ家族連れらの姿が見られました。

また、土、日、祝日には、甲冑試着体験や歴史紙芝居、武家屋敷特別展、二重櫓の公開など多彩なイベントが行われ、開催期間中の登城者は6,233人に上りました。

▼毎月、皆さんにお届けしている「広報たかはし」。今月号で98回目の発行となりました。広報紙は市からの大切な情報も、とり、暮らしに役立つ情報や市内の出来事など、いろいろな情報を掲載しています。広報紙をもっと皆さんに読んでいただくよう「身近で親しみのある広報紙」を目指してこれからも頑張っていきたいと思います。(KY)



編集後記

▼朝や夜が冷え込んできました。夜、仕事を終えて帰っていると、小学校のグラウンドがライトで明々と照らされています。この時季になると、市内各地で消防団のポンプ操法訓練が行われています。私が所属している分団も来年3月の大会に向けて、練習に励んでいます。お互い頑張りましょう。(KH)

▼紅葉がきれいな季節になりました。昼休みを利用して写真を取りに出かけました。いい場所を見つけ、写真を撮ろうと川べりの石に足をかけると、石に付いていたコケで足を滑らせ、そのまま川へ。水の冷たさと同じ時に靴の中のグジュッとした懐かしい感覚に、少し童心を取り戻せた気がして思わず一人で笑ってしまいました。(TK)



まちの出来事



10/14 秋の味覚・魅力を満喫 (備中やすらぎの里一帯)

「備中ふるさとまつり」(同実行委員会主催)が行われました。

会場には市内の各種団体の店が軒を連ね、新商品の備中牛バーガーをはじめ食べ物や飲み物、地域の特産品などを買い求める列ができました。

ステージでは西山小学校の吹奏楽団「ブルースカイブルー西山」や備中太鼓の演奏、備中神楽などが披露されました。

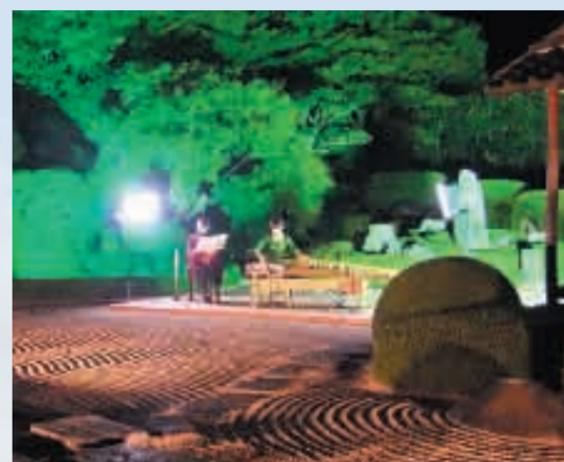
こちよい秋晴れに恵まれたこの日、多くの家族連れらが芝生の上でゆっくりと一日を過ごしました。

10/20 環境保全を意識しよう (市内大型店舗)

「第7回環境フェア in たかはし」(市環境衛生協議会主催)が開催されました。

イベントに先立ち、市内の環境衛生の充実と生活環境の改善による公衆衛生の向上に努めた2団体・2個人が表彰されました。

会場では福地小学校児童のホタルについての環境学習展示や、各種団体による環境に関する展示、エコパフォーマンスショー、自然エネルギー体験コーナーなどが行われ、環境について考えるよい機会となりました。



10/20 秋の夜長にいのちの詩 (頼久寺庭園)

「小堀遠州の世界2012 頼久寺ガーデンコンサート」(同実行委員会主催)が開かれ、市内外から訪れた約100人が、国の名勝を舞台にした幻想的な雰囲気を楽しみました。

今年は、箏奏者の恵子さんの音色に合わせ、山陽放送アナウンサー小林章子さんが谷川俊太郎さんの「生きる」など「生」や「命」に関する詩を朗読。最後は参加者全員で童謡「もみじ」を合唱しました。